

ひびきあい

学校だより5月号

令和8年4月30日

横浜市立新田小学校

優しさの輪を広げ 共に創る「誰もが安心できる居場所」

校長 近江 学



新緑のまぶしい季節となりました。令和8年度がスタートして1ヶ月、校内に響く元気な声も、いっそう活気を帯びてきたように感じます。

先日の「1年生を迎える会」では、全校児童のキラキラとした笑顔が体育館いっぱいに溢れていました。上級生たちの温かい眼差しと優しさに触

れ、1年生もこれからの学校生活がより楽しみになったことでしょう。その光景は、新田小学校を『安心できる場所』に、みんなで創っていこうとする、一人一人の温かな心を感じさせてくれるものでした。

日常の何気ない場面でも、温かな心を感じる嬉しい出来事がありました。ある朝、昇降口の廊下に水筒のお茶がこぼれていたのでしょうか、水たまりをみつけました。私が拭こうとした際、中学年の児童2名が「手伝います！」と自ら名乗り出てくれたのです。誰かのために、みんなのためにと、進んで気づき行動するその姿は、まさに自分たちの居場所を自分たちの手でより良くしようとする主体性そのものでした。相手を思いやるこうした温かな心の輪が、学校、そして地域全体へと広がっていくことを強く願っています。

本年度の学校づくりにおいて、「子ども一人一人を徹底的に大切にすること」を教育の原点に据え、教職員一丸となって取り組んでいます。学校説明会でお伝えした通り、私たちの目指す姿は「誰もが安心して笑顔で過ごせる学校」です。安全・安心を守ることはもちろん、「先生の笑顔が 子どもの幸せに」つながると信じ、教職員が心にゆとりを持って一人一人と真っ直ぐに向き合える環境づくりに努めてまいります。

保護者や地域の皆様は、子どもたちの成長を共に育てる大切な「パートナー」です。毎日の登下校を見守ってくださる「学援隊」の方々、授業や環境整備などを支えてくださる「くすっき応援隊」や「地域の先生」の皆様など、学校・家庭・地域が手を取り合うこの「チーム新田」の強い絆こそが、子どもたちの『きらりと光る未来』を支える大きな力となります。

新田小学校に「通わせてよかった」「この学校を応援したい」と思っていただけのように、これからも「チーム新田」の輪を大切に、全力を尽くしてまいります。子どもたちがワクワクしながら歩いていけるよう、引き続き温かいご理解とご協力をお願い申し上げます。